

第 469 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2021 年 12 月 3 日（金） 13 時～16 時

II. 場 所 ウェブ会議

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 基準諮問会議からの報告
- (2) リースに関する会計基準の開発
- (3) 実務対応報告第 40 号「LIBOR を参照する金融商品に関するヘッジ会計の取扱い」について
- (4) 2021 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応
- (5) IASB 公開草案「IFRS 基準における開示要求―試験的アプローチ IFRS 第 13 号及び IAS 第 19 号の修正案」へのコメントの検討
- (6) IASB 公開草案「公的説明責任のない子会社：開示」へのコメントの検討
- (7) 専門委員の選退任

本企業会計基準委員会は、新型コロナウイルス感染症への対応として、「企業会計基準及び修正国際基準の開発に係る適正手続に関する規則」第 13 条に基づき、ウェブ会議で実施した。

IV. 議事概要

（審議事項）

(1) 基準諮問会議からの報告

湯浅基準諮問会議議長より、第 43 回基準諮問会議（2021 年 11 月 29 日開催）において新規テーマの提案がなされた「株式報酬に関する会計処理及び開示の取扱いの整備について」に関する審議の状況について報告された。加えて、当該テーマのうち、いわゆる現物出資構成による取引に関する会計基準の開発については、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼することが報告された。また、第 43 回基準諮問会議において、企業会計基準委員会の最近の活動状況について報告を受けた上で質疑を行った旨が説明され、審議が行われた。

(2) リースに関する会計基準の開発

川西副委員長及び牧野専門研究員より、IFRS 第 16 号「リース」の内容と整合性を図る程度について説明がなされ、審議が行われた。

(3) 実務対応報告第 40 号「LIBOR を参照する金融商品に関するヘッジ会計の取扱い」について

川西副委員長及び宮治アシスタント・ディレクターより、実務対応報告第 40 号における金利指標置換後の取扱いの再度の確認について、事務局で再度整理した論点の内容及び対応案、仮に実務対応報告第 40 号を改正する場合の文案の方向性及び実務対応報告第 40 号の改正案並びに「コメントの募集及び公開草案の概要」の文案について説明がなされ、第 172 回金融商品専門委員会（2021 年 11 月 30 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。審議の結果、可能であれば、次回の委員会において公開草案の公表承認に関する審議を行いたい旨が説明された。

(4) 2021 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応

川西副委員長より、2021 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）におけ

る対応方針について説明がなされ、第 120 回 ASAF 対応専門委員会（2021 年 12 月 2 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(5) IASB 公開草案「IFRS 基準における開示要求－試験的アプローチ IFRS 第 13 号及び IAS 第 19 号の修正案」へのコメントの検討

川西副委員長及び丸岡アシスタント・ディレクターより、IASB 公開草案「IFRS 基準における開示要求－試験的アプローチ IFRS 第 13 号及び IAS 第 19 号の修正案」の概要、コメント対応方針案及びコメント・レター文案について説明がなされ、第 49 回ディスクロージャー専門委員会（2021 年 11 月 9 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(6) IASB 公開草案「公的説明責任のない子会社：開示」へのコメントの検討

川西副委員長及び花澤専門研究員より、IASB 公開草案「公的説明責任のない子会社：開示」（以下「本公開草案」という。）の概要、コメント対応方針案及び本公開草案で提案されている、要件を満たす子会社が開示要求を削減した形で IFRS 基準を適用することを認める新しい IFRS 基準書の総論に対する ASBJ 事務局の見解について説明がなされ、第 50 回ディスクロージャー専門委員会（2021 年 11 月 26 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

(7) 専門委員の選退任

川西副委員長より、IFRS 適用課題対応専門委員会の専門委員の選退任案について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、原案の通り承認され、委嘱等の手続を行うこととされた。

以 上